



# 常緑ヤマボウシ類

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 外来種・園芸品種



**科名** ミズキ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや遅い

ヤマボウシと同様、初夏には白い花、秋には赤い果実が楽しめる。異なるのは、常緑であり品種によっては寒い環境への適応が難しいこと。アジア大陸より導入された外来種で、ホンコンエンシスとヒマラヤヤマボウシの2系統がある。常緑の葉は、肉厚で秋には一部紅葉する。



緑葉



花



実

## Memo

中国産のシナヤマボウシ'ミルクィウェイ'は白い花を満開にする人気の品種だが、こちらは落葉性。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実										■			
紅 葉												■	
施 肥		■						■					
剪 定		■						★★★					

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強		○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○	○			○	

## ポイント

ホンコンエンシスには、小振りな花のガビサン（メラノトリカ）やたくさん花をつける月光があり、ヒマラヤヤマボウシには、クリーム色の花をつけるマウンテンムーンがある。ポイントは寒さ対策。

## 剪定

生長が遅く、あまり大きくならないので、剪定は最小限でよい。剪定時期は1～3月に枝抜き剪定をする。寒い地方では落葉したり、一部の枝が枯れたりする。寒風除けをすると良い。

## 病虫害

アブラムシ、カイガラムシ、ハマキムシなどが発生することがある。アブラムシなどの排泄物が葉につくと二次的に「すす病」が誘発されるので一緒に対処する。